

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	再生可能エネルギー導入推進事業		担当部署	市民環境部 環境局 環境政策課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギー使用の合理化に関する法律、第3次鳴門市地球温暖化対策実行計画「エコ・オフィスなると」、鳴門市環境基本計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 ▼ 26 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると			終期
(小項目)					
施策	7	地球温暖化・省エネ対策の推進			
基本事業	4	再生可能エネルギーの導入			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市遊休地、市施設および市全域						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市における、自然環境や社会環境等に配慮した温室効果ガス排出量の削減や地域活性化等に向けて、太陽光をはじめとする再生可能エネルギーの導入促進を図る。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	前年度に締結した優先設置事業者との協定書に基づき、学校施設において屋根貸しによる太陽光発電システム設置事業を進める。 引き続き、(公財)世界自然保護基金ジャパン等4者による検討協議会において、風力発電施設建設の可能性について検討し、また環境省が実施する「風力発電等環境アセスメント基礎情報整備モデル事業」に共同で取り組む。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		太陽光発電導入箇所	11	3	2	2	2	箇所

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	協定書に基づき、優先設置事業者2事業者が小中学校9校に太陽光発電施設を設置した。また第二中学校及び第一小学校については、県の補助金を活用し、市が太陽光発電施設を設置した。 引き続き、(公財)世界自然保護基金ジャパン等4者による検討協議会において、風力発電施設建設の可能性について検討するとともに、環境省が実施する「風力発電等環境アセスメント基礎情報整備モデル事業」に共同で取り組んだ。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市での再生可能エネルギー導入に関する協議	11	10	10	10	0	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	太陽光発電導入箇所		2	9	-	-	-	箇所
	目標達成率(実績/目標)			300.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	0	0
		決算額	0	0	0	0	0	0
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費	
0.5		0.0		3,430		3,430		

【事務事業名:再生可能エネルギー導入推進事業】

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	0	0	18,764	17,679	0
	うち一般財源	0	0	300	0	0
	人件費	3,439	3,430	4,466	5,501	0
	総事業費	3,439	3,430	23,230	23,180	0

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		太陽光発電施設の導入により、温室効果ガス排出量の削減に取り組んだ。
	効率性	B:概ね効率的だった		優先設置事業者との連携により、効率的に実施した。
②成果に対する評価	指標名	太陽光発電導入箇所		太陽光発電導入箇所について、目標を上回ることができた。
	目標	3	箇所	
	実績	9	箇所	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		優先設置事業者との連携により、効率的に実施できたほか、太陽光発電導入箇所について、目標を上回ることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	公共施設や遊休地を活用した屋根貸し、土地貸しによる太陽光発電施設等の設置に努めるとともに、新たな再生可能エネルギーの導入施策について検討する。WWF等との協議内容や「風力発電等環境アセスメント基礎情報整備モデル事業」の調査結果を踏まえ、本市の自然環境や社会環境と調和する再生可能エネルギー導入計画を策定する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	公共施設や遊休地を活用した屋根貸し、土地貸しによる太陽光発電施設等の設置に努めるとともに、新たな再生可能エネルギーの導入施策について検討する。WWF等との協議内容や「風力発電等環境アセスメント基礎情報整備モデル事業」の調査結果を踏まえ、本市の自然環境や社会環境と調和する再生可能エネルギー導入計画を策定する。			
	平成29年度	再生可能エネルギー導入計画の推進に取り組むとともに、市有地等を活用した自然エネルギーの活用に取り組む。			